

① 公共用水域へ排水する事業場が特定施設を設置する場合 [14 ページから 25 ページまで]
 (分流式下水道へ接続し、雨水のみ公共用水域へ排出する事業場もこちらを参考にしてください。)

放流先	合流下水道	分流下水道	公共用水域
施設種類	特定施設		貯蔵施設
有害物質の使用	有		無

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

●年 ●月 ●日

東京都知事 殿

東京都○○区○○町○○丁目○番○号
 ○○工業株式会社
 届出者 代表取締役 東京太郎
 郵便番号(▲▲▲-▲▲▲▲) 電話番号(▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲)
 (氏名又は名称及び住所ならびに法人にあってはその代表者の氏名)

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、
 特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○工業株式会社 ○○工場		
工場又は事業場の所在地	○○市○○町○○丁目○番○号		
特定施設の種類の	65,66	※整理番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※整理年月日	年 月 日
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※施設番号	
△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排水水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排水水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
有害物質使用特定施設の種類の			
△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		
有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	※備 考	
△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
△施設において製造され、使用され、 若しくは処理される有害物質に係る 用水及び排水の系統又は施設において 貯蔵される有害物質に係る搬入及 び搬出の系統	別紙15のとおり。		

該当する部分以外は二重線で消す。

【届出者が法人の場合】
 名称・本社住所及び代表者
 職氏名を記入する。
 【届出者が個人の場合】
 事業主の住所・氏名を記入
 する。

特定施設等を設置しよう
 とする工場・事業場名及び
 住所を記入する。

政令別表第1の特定施設
 の番号(63~69 ページ参
 照)を記入する。

今回設置する施設が有害
 物質使用特定施設に該当
 する場合は有に、該当しな
 い場合は無にチェックす
 る。

様式第1 (裏面)

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあつては、名称)を記載してください。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入してください。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出は要しません。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入してください。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用してください。
- 5 ※印の欄には、記載しないでください。
- 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けてください。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4としてください。

主要製品の名称を記入する。
年間当たりの工業出荷額(予定額等)を記入する。

届出に係る事業場の従業員のみ
(本社、他の工場等を含めない。)

参考

主要製品の名称・生産額及び出荷額	資本金	〇〇〇万円	敷地面積	10,000 m ²
ねじ等 機械部品 〇億円/年	従業員数	20人	作業場面積	8,000 m ²
	業種	電気めっき業	現在の地での 事業年月日	×年×月×日
	用途地域	工業地域	操業時間	9時～17時 (8時間)
	公害防止担当部 課及び担当者	製造部 環境課 ▲▲グループ 〇〇〇〇 電話(〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇) mail(〇〇▲▲@tokyo.todokeda.co.jp)		

この部分は
必ず記入する。

本社ではなく、事業場の
担当者を記入する。

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1 (銅・ニッケルめっきライン)	No. 2 (無電解〇〇めっき槽)
特定施設番号及び名称	66 電気めっき施設	65 酸・アルカリ表面処理施設
型式	全自動めっきライン (□□□社製 BC-1)	浸漬式 (△△△社製 A-1)
構造	鉄製 (内側を耐酸コーティング) (添付第■図参照)	鉄製 (内側を耐酸コーティング) (添付第■図参照)
主要寸法	装置全体 1,000×8,000×1,500(H)mm	槽寸法 1,000×1,200×1,500(H)mm
能力	ねじ 3000個/日	ねじ 300個/日
配置	めっき工場棟 1F (添付第2図参照)	めっき工場棟 1F (添付第2図参照)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項	別紙1の2を参照	別紙1の2を参照

備考

- 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置について図面を利用して記載してください。(添付第()図のとおり)
- 2 特定施設の構造等の変更、特定施設の増設及び一部廃止の場合は変更内容を対照してください。(添付第()表のとおり)
- 3 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載してください。(「別紙1の2を参照」と記載してください。)

複数の施設が存在する場合は添付図面に対応した事業場内における番号と名称を記入する。

該当する特定施設番号(63～69 ページ参照)及び名称を記入する。

施設の型式等を記入する。メーカー名が分かる場合は記入する。

施設の構造材料・材質等を記入する。施設に関するカタログ・資料等を添付する。

施設の大きさを記入する。(原則、構造図等も添付)

原則として1施設をフル稼働(想定される1日の最大作業時間)させた場合の能力を記入する。

事業場内の建物の名称、位置等を明記した別図(工場配置図)に、特定施設等の配置が分かるように記入する。

有害物質使用特定施設に該当する場合は、「別紙1の2を参照」と記入する。

各予定日を記入する。

「別紙1の2」は有害物質を製造・使用・処理している特定施設について記載する様式です。
 有害物質を製造・使用・処理しない特定施設については、別紙1の2の提出は不要です。

別紙1の2

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 1 (銅・ニッケルめっきライン)	No. 2 (無電解〇〇めっき槽)
特定施設番号及び名称	66 電気めっき施設	65 酸・アルカリ表面処理施設
設備	排水溝等	ためます 検知装置(添付第◆図参照)
構造	排水溝:コンクリート製50mm厚 (FRP被覆) 排水管:塩ビ二重配管 (トレンチ内設置)	ためます:コンクリート製50mm厚 (検知装置付き)
主要寸法	排水溝:幅300mm×深200mm×10m トレンチ:幅300mm×深300mm×12m 排水管:内管直径100mm、 外管直径150mm	ためます:500×500×400(H)mm
配置	めっき工場棟 1F (添付第2図参照)	めっき工場棟 1F (添付第2図参照)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式の提出は要しません。有害物質を使用等する施設のみ記載してください。
 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置について図面を利用して記載してください。

参考

床 面	床面:コンクリート製100mm厚 FRP被覆	床面:コンクリート製100mm厚 フラン樹脂被覆
周囲の構造	周 囲:勾配付排水溝	周 囲:防液堤(容量4m ³)
点検内容・頻度等	<ul style="list-style-type: none"> ●施設及び床面等 ・溶液の水位記録(毎日) ・施設本体の損傷、漏れ等の有無、床面のひび割れや被覆の損傷等、防液堤の損傷等の有無(年1回以上) ●付帯する設備 ・排水溝、トレンチ内部、排水管の損傷等の有無(年1回以上) ●使用の方法に関する事項 ・管理要領の見直し(年1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設及び床面等 ・溶液の水位記録(毎日) ・施設本体の損傷、漏れ等の有無、床面のひび割れや被覆の損傷等、防液堤の損傷等の有無(年1回以上) ●付帯する設備 ・検知装置試運転(年1回以上) ・ためます内部のひび割れ等、排水管の損傷の有無(年1回以上) ●使用の方法に関する事項 ・管理要領の見直し(年1回以上)

別紙1と同じ内容を記入する。

該当の特定施設に接続し、次の施設に至るまでの設備の種類を記入する。
 (例:配管、ためます、排水ピット、フランジ、バルブ、排水溝等)

設備の材質や設置状況等を記入する(例:ポリプロピレン製架空配管等)。また、検知設備があれば記入する。

設備のうち主なものについて寸法を記入する。

建物の名称・位置等を記入し、必要に応じて図示する。特に地下に設置する場合は、その旨記入する。

各予定日を記入する。

床面は、材質(例:コンクリート等)・被覆の有無等について記入する。

周囲は、受け皿・防液堤・側溝等について記入する。

点検内容・頻度は76～82ページを参考に記入する。詳細は、環境省マニュアル『地下水汚染の未然防止のための構造と点検・管理に関するマニュアル』に記載されている。
<https://www.env.go.jp/water/chikasui/brief2012.html>

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1 (銅・ニッケルめっきライン)	No. 2 (無電解〇〇めっき槽)			
特定施設番号及び名称	66 電気めっき施設	65 酸・アルカリ表面処理施設			
設置場所	めっき工場棟 1F (添付第2図参照)	めっき工場棟 1F (添付第2図参照)			
操業の系統	添付第▲図参照	添付第▲図参照			
使用時間間隔	10時～16時	週2～3回程度使用し、 使用時間帯は不規則			
1日当たりの使用時間	6時間	4時間			
使用の季節的変動	6月中旬～7月中旬 100%稼動 12月～1月 30%稼動 その他 70%稼動	なし			
原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	青化銅 ○kg/日 青化ソーダ ○kg/日 硫酸ニッケル ○kg/日 塩化ニッケル ○kg/日 ホウ酸 ○kg/日 有害物質種類:シアン化合物 ホウ素化合物	■ ■ ■ ○kg/日 △ △ △ ○kg/日 ◆ ◆ ◆ ○kg/日 〇〇化合物 ○kg/日			
汚水等の汚染状態	種類・項目(単位)	通常	最大	通常	最大
	pH	別添▲図参照		4.5	3
汚水等の量 (m ³ /日)	種類・項目(単位)	通常	最大	通常	最大
	〇〇化合物(mg/L)			30	50
その他参考となるべき事項	汚水等の汚染状態は水洗水の分析値を記載 濃厚めっき廃液等は2ヶ月に1回抜き取り、産廃処理				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

別紙1と同じ内容を記入する。

別図(工場配置図)の設置場所に印をつける。
(23ページ参照)

特定施設を含む操業の系統(フローシート)を記入する。工場の生産工程を、原料から出荷まで特定施設の排水の発生箇所を含め記入する。この欄に記入できない場合は別紙に記入する。(24ページ参照)

1日のうち使用する時間帯を記入する。隔日等の場合はその旨記入する。

1日当たりの使用時間を記入する。

季節変動がある場合には具体的に
4月～5月 多い
12月～1月 少ない
などのように記入する。

特定施設を含む作業工程に使用する原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記入する。

原材料に有害物質が含まれる場合に、その種類を記入する。

当該特定施設から排出される汚水について記入する。種類・項目は原材料等から排出するおそれのあるものを、通常、最大において測定結果がない場合は設計値を記入する。この欄に記入できない場合は別紙に記入する。(24ページ参照)

産廃処理する場合等に記入する。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設		浄化槽						
処理施設の設置場所	別添第2図		別添第2図						
設置年月日	年月日		年月日						
工事着手予定年月日	年月日		年月日						
工事完成予定年月日	年月日		年月日						
使用開始予定年月日	年月日		年月日						
種類及び型式	連続自動式		合併処理浄化槽						
構造	ライニングコンクリート		FRP						
主要寸法	別添第〇図		別添第〇図						
能力	30m ³ /日		10人槽						
処理の方式	pH調整・還元・凝集沈殿処理		活性汚泥法						
処理の系統	別添第〇図		別添第〇図						
集水及び導水の方法	別添第2図		別添第2図						
使用時間間隔	8:00～17:00		0:00～24:00						
1日当たりの使用時間	連続8時間		連続24時間						
使用の季節変動	なし		なし						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	苛性ソーダ、硫酸、消石灰、次亜塩素酸ソーダ、高分子凝集剤								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目(単位)	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5	7	10	8	7	7		7
	BOD(mg/L)		3		5	100	5		10
	SS(mg/L)		5		10	50	5		10
	B(mg/L)	10	5	20	8				
	CN(mg/L)	600	<0.1	700	<0.1				
	Cu(mg/L)	300	0.8	1000	1≦				
	〇〇化合物(mg/L)	30	<0.1	50	<0.1				
	量(m ³ /日)	15	15	30	30	10	10	15	15
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥(B、Cu等含有)4t/2ヶ月 委託処分:㈱××グリーン				有機汚泥1t/3ヶ月 委託処分:㈱〇〇保全				
排水水の排出方法	No.1排水口にて放流				No.2排水口にて放流				
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。
2 排水水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載してください。

当該処理施設を特定できるように工場内で用いている番号や名称を記入する(特定施設の排水以外の汚水の処理をしている処理施設についても記入する)。

別図(工場配置図)の設置場所に印をつける。(23ページ参照)

処理施設自体を工事する場合、予定日を記入する。

1日当たりの処理能力を記入する。

処理方法を具体的に記入する(他の方式例:加圧浮上法、油水分離、砂ろ過等)

構造図、設計計画書、性能保証値、処理施設までの集水導水方法を記載した図面を添付する。

連続処理の場合は、1日又は1月当たりの使用量を、回分処理の場合は1回当たりの使用量を記入する。

排水口の位置及び排出先も含めて記入する。排水口で放流する場合は別紙4と整合させる。

汚水処理施設の処理前・後の水質について、通常(実際に流れる量の平均値)と最大を区別して記入する。新規施設の設置に伴い汚染状態が変更する場合は、設計値等を記入する。

残さの種類毎に記入する(例:汚泥(B、Cu等含有)、有機汚泥)。生成量は、脱水装置等で汚泥処理をする場合は脱水後の重量を記入する。処理方法は委託処分の場合は処理業者名を、自己処分の場合は搬入先を記入する。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号 (排水口の名称)	No.1 (製造工程排水口)		No.2 (生活系排水口)		No.3 (雨水排水口)	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大
種類・項目(単位)						
pH	7	8	7	7		
BOD (mg/L)	3	5	5	10		
SS (mg/L)	5	10	5	10		
B (mg/L)	5	8	-	-		
CN (mg/L)	<0.1	<0.1	-	-		
Cu (mg/L)	0.8	1 ≤				
〇〇化合物(mg/L)	<0.1	<0.1				
排水水の汚染状態						
排水水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	15	30	10	15	0	
その他参考となるべき事項	〇〇川に放流		同左		同左	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排出基準に定められた事項について記載してください。

排水口毎に名称をつけ、添付図面に記入する。雨水排水、分流式下水道、合流式下水道等、排出先に関わらず、事業場から排出する排水口を全て記入する。

排水基準が定められている項目のうち、通常排水口から排出される項目や排出されるおそれのある項目(特定施設において使用されている物質や副生成等により存在すると推定される物質を含む。)について記入する。

※ここで記入した項目は1年に1回以上、その他の項目については必要に応じて測定すること。

日平均値を通常のカ欄に、最も多い日量を最大のカ欄に記入する。

雨水排水口で晴天時に排水が無い場合は、通常のカ欄に「0」と記入する。

新設又は改修施設からの排水を含み、届出時点で実測値がない場合には、設計値等を記入する。排水の量については別紙3や別紙6と整合をとる。

公共用水域に排出する場合は河川名を、分流式下水道に排出する場合は、分流式下水道污水管又は分流式下水道雨水管の別を記入する。
(その他必要に応じて合流式下水道、地下浸透なども記入する。)

用水及び排水の系統

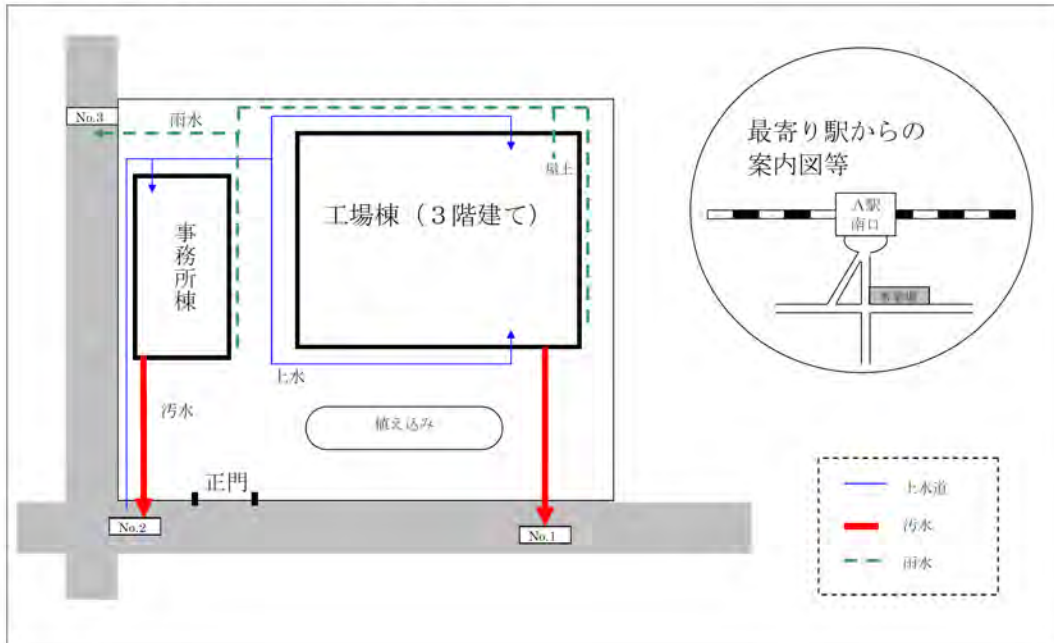
用水及び排水の系統	ア 事業場全体の配置 イ 給水系路 ウ 排水の排出経路 (特定排水、間接冷却水を色分してください) エ 雨水専用排水路 オ 処理施設の設置場所 カ 特定施設の設置場所 ア～カまでを記した図面を添付してください。		
	別添図面一覧(例) 1図 全体図(給排水経路含む) 2-1図 1F配置図(同上) 2-●図 2F配置図(同上) ※記入例では省略 2-●図 3F配置図(同上) ※記入例では省略 ■図 特定施設の構造 ※記入例では省略 ◆図 検知装置構造図 ※記入例では省略 ▲図 操業の系統図 □図 排水処理系統図 ◇図 排水処理施設構造図 ※記入例では省略 △図 合併処理浄化槽構造図 ※記入例では省略		
用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	工程水	水道水	15
	生活用水	水道水	10
合計			25

ア～カに示した内容の分かる図面を添付する。同一図面に記載可能のものは別図にする必要はないが、給水系統は青、排水系統は赤、雨水系統は緑等で色分けし、判別できるようにする。建屋が複数ある場合や、同一建屋でも複数階に給排水系統がわたる場合は、敷地全体図と共に、それぞれの建屋や階毎に作成した図面を添付する。

用途で冷却水については、直接冷却水と間接冷却水は分けて記入する。使用水については、水道水、地下水、循環水、再利用水等を明記する。平均的な使用量と届出内の水収支に整合性があるように記入する。

※ 別紙5「排水の排水系統別の汚染状態及び量」は、排水を東京湾（東京湾流域の河川を含む。）へ排出する特定事業場であって、かつ排水量が 50m³/日以上の場合のみ記載します。

添付第1図 事業場全体配置図（給排水経路図及び案内図）

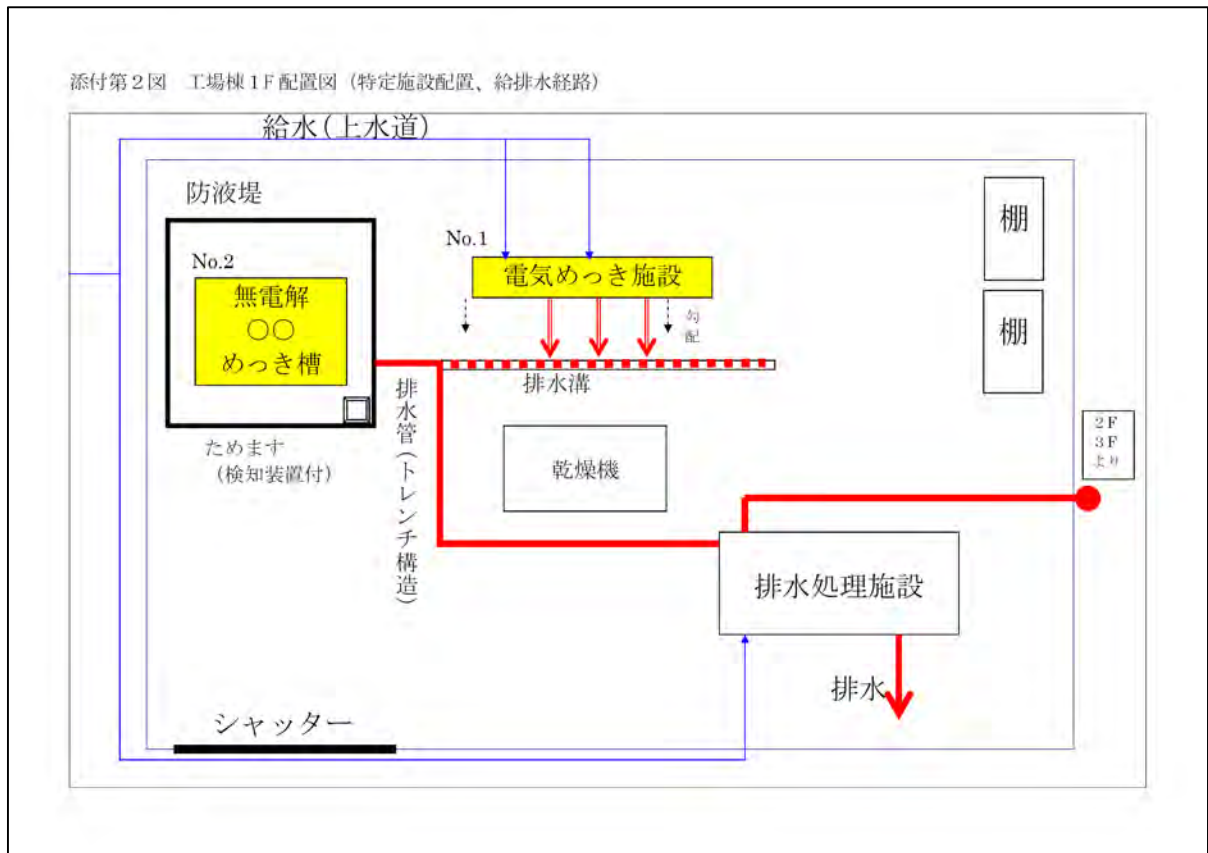


敷地の範囲が明確に分かる図面を添付してください。

この添付図面は、別紙6に示すア（事業場全体の配置）、イ（給水経路）、ウ（排出水の排出経路）、エ（雨水専用排水路）の図面を兼用した例であり、別紙4の参考資料でもあります。

案内図については、最寄り駅が近くでない場合は、主要幹線道路からの案内図を記載してください。

添付第2図 工場棟1F配置図（特定施設配置、給排水経路）



この図面は、別紙6に示すイ（給水経路）、ウ（排出水の排出経路）、オ（処理施設の設置場所）、カ（特定施設の設置場所）の図面を兼用した例であり、別紙1、1の2、2及び3の参考資料でもあります。既存の図面を活用し、不足する箇所を追記して作成した図面でも構いません。特定施設や排水経路等の位置を特定するため、主要な施設も図面に記載してください。

添付第▲図 操業の系統

<銅・ニッケルめっき工程>



水質							
pH		9		7		10	
CN (mg/L)		-		-		600	
Cu (mg/L)		-		-		300	

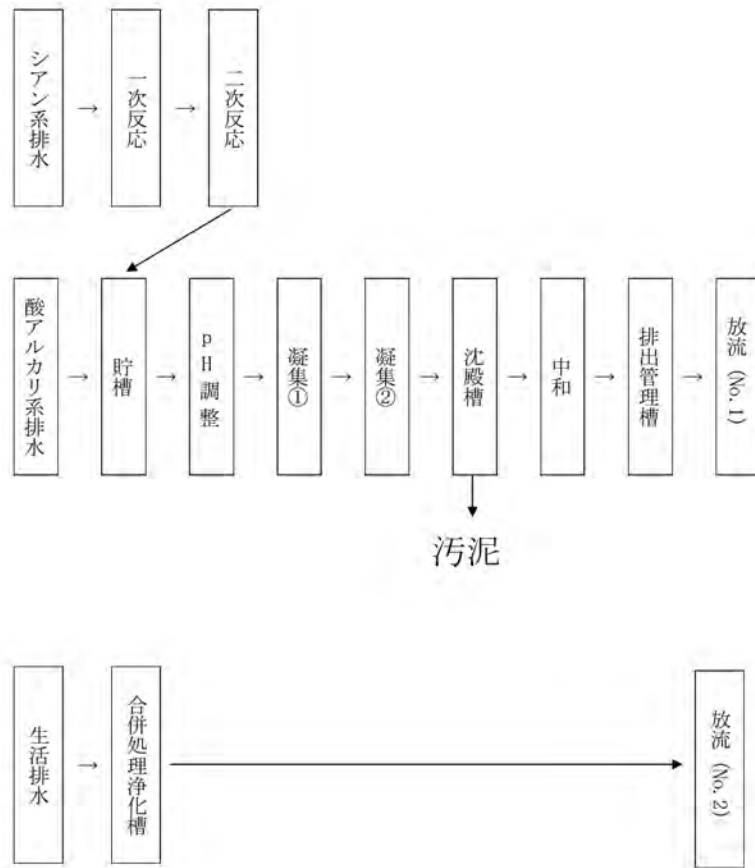
(記入例のため、簡略化してあります。)

<無電解〇〇めっき工程>



この図面は、別紙2の添付資料の例です。

添付第□図 排水処理の系統図



この図面は、別紙3の添付資料の例です。

放流先については、別紙4や添付第1図の名称等と整合させてください。